



12月1日現在の天王町
 本籍数 3,981
 本籍人口 14,042
 世帯数 2,685
 住民登録人口 13,011
 内 男 6,452
 女 6,559

うんのてん報

第22号 昭和41年1月1日発行

発行所
 秋田県天王町役場
 (天王局 1番42番
 135番)

編集
 天王町役場総務課

印刷
 一日市印刷所
 電話 38番



輝かしい昭和四十一年の新春を町民みなさまとともに迎え、謹んで新年のお祝いを申し上げます。願みますと昨年は、種々の面で意義深い年でありました。就任以来、職員の綱紀粛正、町民へのサービス、町政発展をモットーに努力してまいりました。豪雪につぐ異常天候、台風などに悩まされ、農作物には甚大な被害を被り、一時は暗い前途を思わせました。

しかし、農家各位の不断の研究努力により悪条件をのり越えて、輝かしい昭和四十一年の新春を町民みなさまとともに迎え、謹んで新年のお祝いを申し上げます。願みますと昨年は、種々の面で意義深い年でありました。就任以来、職員の綱紀粛正、町民へのサービス、町政発展をモットーに努力してまいりました。豪雪につぐ異常天候、台風などに悩まされ、農作物には甚大な被害を被り、一時は暗い前途を思わせました。

新春を迎えて

躍進天王の基礎を固めよう

天王町長 藤原慶三郎

新春を迎えて

も大きく、実現には十二分の意欲を燃やすと同時に、天王町の将来を誤らぬと慎重を期してがんばる覚悟です。

また、昨年から二田地区・農業構造改善事業も、関係各位の絶大なご協力を得て、国の指定を受けるべく関係機関に申請中でございます。しかし前途には、正式指定、補助金起債などの難問題が控え、なみなみならぬもの予想されますが、農業の構造改革に先駆的役割を果たすという態度で、地域開発のため、是非、これが実現するよう努力いたします所存です。

今や本町は、内には農業、教育それに青少年、社会福祉、外には新産業都市建設など、解決しなければならぬ問題が山積みしております。

私も公約事項に関する限り、誠意をつくしてその解決を遂げつつあると信じております。

しかしこれらの諸問題は、町民が総力をあげ、一致団結して当たらねば解決出来ません。

新春に当たり、町民各位はここに思いをいたし、「躍進天王町建設」に各々が一役をないつつある今日よりも明日、今年よりも来年と希望に燃え、豊かなよりよい生活建設のため、また町政刷新のためご協力あらんことを切望いたします。

本年は補助金交付の対象など十分に検討し、財政健全化の基本方針として、一定規模の一般財源費を想定して、これを越えての消費的経費の支出は極力押さえる方針

であります。

さらに歳入面の増強によつて健全な財政構造を確立し、総花式の平凡をさげ、重点事業計画を中心に予算編成を行ない、「最大の経費で最大の効果」をあげる行政効力を発揮したいと思っております。

将来、天王町の歴史的發展につながる基礎確立に懸命の努力をほらい、希望に満ちた明るいガラス張りの町づくりをいたす覚悟であります。

お知らせ

一月八日(土)は町消防団出初式のため、午前九時にサイレンを長声二回吹鳴します。

一月のこよみ

- 1日 元日、年賀、初もうで
- 2日 初荷、初夢、書き初め
- 4日 官庁ご用始め
- 5日 町成人式
- 6日 小寒
- 7日 七草
- 8日 町消防出初式
- 15日 成人の日
- 16日 家庭の日、やぶいり
- 17日 土用、ぼんぜん(秋田)
- 20日 大寒
- 22日 旧元旦
- 27日 国旗制定記念日
- 月異名 睦月(むつき)
- 花暦 福寿草
- 誕生石 ガーネット

年頭のあいさつ

天王町議会議長 藤原寛一

町発展へ邁進

新年おめでとうございます。昨年(二十三年)は、四号の相次ぐ台風襲来で、農家にとっては大変な年でありました。しかし、役場庁舎の新築完成、さらに秋田湾地区の新産業都市指定により、その中心地としての本町にとつては、将来の発展が約束された年でもありました。

願われれば私も兄玉、京谷、二田藤原の四代首長のもと、町議会議長の職を汚しておりますが、みなさんのご協力を得て、常に自治体の発展と町民の福祉向上を願ひ、

微力を注いでまいりました。

この昭和四十一年の年頭に際し本年はとくに、新産業都市指定にともなう今後処する諸計画、八郎潟中央干拓地への入植および残存湖の利用計画、産業開発の推進、社会教育などの主要問題を始め、町発展のための諸問題に対し、老骨にムチ打つて頑張る所存でありますので、よろしくご協力下さるよう念願してやまない次第です。

最後に、みなさんのご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

39年度決算認定

第十、十一回町議会開かる

臨時町議会

ことし十回目の町議会(臨時)が去る十一月三十日招集された。会期を十二月六日までとし、昭和三十九年度の一般会計および、国民健康保険・簡易水道特別会計の決算をそれぞれ認定したほか、十案件を原案どおり可決した。この町議会で可決された議案はつぎのとおり(要旨)。

昭和町との町界にある野沢橋の工事費にあてるため、昭和町長より申し出のあつた分担金と、北野地区ほか四地区の町道新設工事費にあてるため、秋田鉄道管理局長より申し出のあつた寄付金をそれぞれ採納しようとするもの。

- 町道補装工事の施行および、その工事の施行方法について
 - 二田駅前から県道(男鹿街道)までの町道、延長四九三メートルを簡易舗装工事するもので、工事
- 秋田県旧市町村職員恩給組合、資産管理組合規約の一部変更について
- 組合の住所表示の変更、加入町村の名称などの変更による規約の一部を改正するもの。
- 町税滞納繰越調定額の変更について
 - 三十九年度中において、町税の滞納繰越額で誤賦課などによつて深税されたものを、減額するため
- 一般会計補正予算について
 - 歳入・歳出にそれぞれ七、〇一六千円を追加するもの。
 - 内訳はつぎのとおり。

- 歳入
 - 使用料、手数料 八二千円
 - 県支出金 一〇三一〇
 - 寄付金 三八〇三〇
 - 町債 二〇〇〇〇
 - 分担金、負担金 一〇〇〇
 - 歳出 一〇〇千円
 - 議会費 九四八〇
 - 総会費 一六三〇
 - 民生費 三六〇
 - 衛生費
- 農林水産業費 一〇〇〇
- 土木費 五二八八〇
- 教育費 三八一〇
- 昭和三十九年度の一般会計、国民健康保険特別会計、簡易水道特別会計の歳入・歳出認定について
- 三十九年度決算の概要
 - 一般会計の最終予算額は、一五、九八七千円であつたが、決算の結果、歳入は一三、八、二四六、六八三円、歳出は一四、八四六、〇九三円、差引き八、五九九、四一〇円の歳入不足を生じ、この不足額は四十年歳入から繰上げ充用をした。
- 三十九年度の主要事業
 - 役場庁舎新築工事(鉄筋コンクリート二階建て)三、二六七坪) 一、二六八千円
 - 消防車庫新築工事(木造モルタル一部二階)四三、一二坪) 二、四二〇千円
 - 天王漁港(江川)災害復旧工事 一、二〇〇千円
 - 失業対策事業 一、〇〇〇千円
 - 天王荒町地内の県道舗装工事および、二田地内の県道測溝工事費の一部負担金一三、〇〇〇千円
 - その他、出戸小学校の給食施設、大崎、穂丈谷地両保育所施設の設置など

12月定例町議会

- 十二月定例町議会(ことし第十一回)、は十二月二十日招集され会期を一日としたあと、一般質問を行ない、四十年年度一般会計補正予算案など上程された四案件を原案どおり可決して、当日限りで閉会した。なおこの日、四十名近い婦人会員が傍聴された。
- 可決された議案はつぎのとおり
- ▽ 町道新設工事の施行について
 - 追分地区内に幅員五メートル(一部四メートル)、延長七八〇・九メートルの町道新設工事を実施するためのもの。
- ▽ 寄付採納願ひについて
 - 追分地区内の町道新設工事費にあてるため、県経済連より寄付申し出のあつた金百万円と、天王漁業組合より寄付の申し出があつた道路敷地用土地十坪をそれぞれ採納するもの。
- ▽ 固定資産の免税について
 - これは養豚事業の振興をはかるため、県経済連の所有する追分種豚場にかかる固定資産税を、三年間免税するためのもの。
- ▽ 四十年年度一般会計補正予算について
 - 一般会計の歳入・歳出に二、一四七千円を追加するもので、これによつて予算総額は一三七、四〇四千円となつた。
- 歳入
 - 地方交付税 六五〇千円
 - 寄付金 一四九七〇
 - 歳出 六〇〇
 - 農林水産業費 二〇八七〇
 - 土木費

成人おめでどう

—二二〇名の前途を祝福—

成人の日を迎えられるみなさん、おめでどうござい
ます。
終戦の混乱期に生をうけて、苦しい戦後を生き抜き
いま社会人としてのスタートをきられるみなさんに、
心からお祝いを申し上げます。

満二十才になられるみなさん
は、法律上でも完全な行為能力が
認められ、独立の社会人となつた
ことを意味するものです、

つぎのように、おとなとしての
権利を取得しますが、同時におと
なとしての責任も果たさねばなり
ません。

- 選挙権を取得します。
- 医師、弁護士など成人にならな
ければ営めない職業が営めるよ
うになります。
- 成人になつたものは、分籍して
独立の戸籍をもつことが出来ま
す。

□厚生年金や共済組合に入つてい
ない人は、国民年金に加入しな
ければなりません。

□未成年飲酒禁止法や喫煙禁止法
の適用がなくなり、少年法の適
用が受けられなくなり、普通の
刑事裁判手続きを受けなければ
なりません。

本町ではことし二百二十名(男
百十四名、女百六名)のみなさん

が「成人の日」を迎えます。
おとなになつたことを自覚し、
自ら生き抜こうとする皆さんをお
祝いし、励ます「天王町成人式」
は一月五日、天王小学校で行な
います。

成人式の行事も各市町村で行な
われますが、参加する女子の服装
が年々華美にかた寄る傾向にあり
いろいろ問題になっていきます。こ
れが原因で一生一度の成人式に出
席できないということがないよう

善意とつさり

◆歳末助け合い運動◆

去る十二月中行なわれた「歳末
助け合い運動」には、十四万三千
三百円のお金と、衣類など六十余
点が寄せられた。

この中には、天王の村山永太郎
氏が母(イワさん)の遺志をつつ
と、二十二百五十円や、天王バ
ンジャー・サイティイからの慈善バ
ンナー・純益金八千二百三十円、
天王地区更生保護婦人会の衣類六
十点も含まれている。

皆さんで自重したいものです。
成人者自身の日を全員が出席して
有意義に過してください。
この激変する社会にあつて、必
ずしも輝かしい日ばかりではなく
むしろ多事多難であると思ひます
が、成人になられた感激をいつま
でも心に秘めて、く明るく住みよ
い社会づくりががんばつてくだ
さい。
社会をになつて立とうとするみ
なさんの前途を心から祝福いたし
ます。

町成人式日程

内容	時間
式典	一〇・〇〇～
講演	一〇・三〇～
昼食	一一・三〇～
記念撮影	一二・〇〇～
レクリエーション	一二・三〇～
話し合い	一三・三〇～

※話し合いは「恋愛と結婚につ
いて」四組に分かれて行ないま
す。

町社会福祉協議会では、十二月
二十二日に配分協議会を開いて、
これらを長期療養者、施設入居者
保護、要保護家庭や、各学校の要
保護家庭児童生徒へ学用品代とし
て配分することに決めた。

香典返しと五千元

また、天王の柏崎後次氏が「妻
の香典返しです」と五千元を町社
会福祉協議会へ寄せられた。同協
議会では、柏崎氏が永年学校関係
に従事していたことなどを考慮し
て、このお金で全町の児童生徒が
集まる天王中学校へ図書を贈るこ
とにした。

謹賀新年

天王町役場

- 町長 藤原慶三郎
- 収入役 大関良太郎
- 総務課長 伊藤清之助
- 総務課長 石黒 兼造
- 税務課長 大関与五郎
- 経済土木課長 山寺 富治
- 課長心得 大越万治郎
- 教育民生課 他職員一同

天王町監査委員

- 中村新之助 伊藤 邦夫

天王町固定資産評価 審査委員会

- 船木助太郎 佐々木吉太郎
- 児玉良之助

天王町選挙管理委員会

- 委員長 鎌田 悦郎
- 職務代理 安田慶太郎
- 委員 菊地栄治郎
- 鎌田堅治郎
- 他職員一同

天王町議会

- 議長 藤原 寛一
- 副議長 菊地仁太郎
- 加藤 孫助 菊地岩二郎
- 藤原吉治郎 中村 政雄
- 米谷多一郎 伊藤 邦夫
- 石黒 幸蔵 渡部 重春
- 三浦五三郎 三浦利三郎
- 吉田吉治郎 船木 音吉

天王町教育委員会

- 委員長 藤原慶一郎
- 職務代理 三浦 兼吉
- 教育長 西村 鐘三
- 他職員一同

天王町農業委員会

- 会長 菊地徳治郎
- 職務代理 佐藤 栄蔵
- 委員 上坂 順治 渡部 政治
- 藤原 金治 石川久米治
- 戸田 藤三 安田 亦六
- 児玉 正 桜庭専太郎
- 鈴木 多市 伊藤 信雄
- 藤原 菊治 吉田 銀忠
- 佐藤林太郎 佐々木吉之助
- 海老沢勝治 加賀谷清吉
- 菊地 貞蔵 浅野惣太郎
- 三浦 運吉 高橋 貞治
- 他職員一同

天王町公民館

- 館長 藤原 寛一
- 副館長 後藤 春治
- 他職員一同

天王町消防団

- 団長 藤原吉治郎
- 副団長 伊藤武一郎
- 菊地 貞蔵
- 他団員一同

干拓地入植条件決る

農林省は十一月十五日、八郎瀨干拓地への入植条件をほぼまとめた。それによると、

- ①労働者の年齢は原則として二十〜四十歳までとするが、営農経験が豊かで心身ともに健康な人は、四十五歳まで認める。
- ②一戸当たりの労働力は一・八人(夫婦二人働けること)とする

③携行資金は家族二人の場合、入

ウマ年はエンギがよい

天王 戸田 浅五郎

ひまなくゆくこま(隙行く駒)の足も早く、午(うま)の年を迎えることとなった。これにちなんだ馬の話——というわけである。

馬は洋の東西を問わず広く分布しているため自然その伝説、迷信の類も数不胜数、十二支の中でも、もつとも話題の多い動物である。話より馬と人との物語りは連綿としてつきることがない。

植地五haで九〇万円、七・五haは一五万円、一〇haが一四〇万円をそれぞれ準備する。などである。

昭和四十一年秋には初年度入植者百戸を決め、同年十一月から一年間、入植訓練所で大型機械化による近代的農業を学び、四十三年春から本格的な米づくりに着手する予定である。

問い合わせは役場経済課にお問い合せください。

にあつた例がない。この一事をもつてしても、ことしは縁起が良いというものである。

ところが世間には、たまたまことしの午がひのえうま(丙午)に当たることからか、いうものはばかりのような迷信をうわさするものがあつて、遺憾にたえない。このような迷信に傾く限り、十二支は旧来のろう(陋)習のそしりはまぬがれまい。

十二支の効用に、人の年齢をたずねる場合(とくに相手が女性のとき)、十二支を用いるという妙法がある。直接「何年生まれですか」と聞くのは失礼でも、「トセですかヒジジですか」と出まかせに聞かれば、たいていの女性は「あら失礼な、ウマですわよ」とつい答えてしまう。そこで、こちらが急ぎ頭の中で暗算を試みればOKという次第である。

馬脚をあらわさないうちにそろそろ筆を置く。ことしはウマイ年であることを祈つて……。

(農業)

第一回公民館大会

町公民館では、明るく住みよい町づくりと豊かで楽しい家庭を築くための学習を進め、さらに公民館活動の認識を深めようと、全町公民館大会を開きます。

対象は町民一般となつておりますので、みなさまの多数参加をお待ちしています。

とき 一月十五日(土)

時間 午前九時〜午後四時

ところ 天王小学校

内容 記念講演、講義、事例発表、話し合いなど

自衛官募集

1、応募資格
採用予定月の一日現在で、十八才以上二十五才未満の日本国籍を有する男子で、学校教育法に定める中学校卒業程度の学力を有し、自衛隊法第三十八条規定の欠格条項に該当しないもの。

2、試験科目

正天

追分西 渡部 六愁
悪貌も良妻にして初鏡
古りきれた農衣に飾るそなえ餅
初明りでえくぼの乾く石仏け
美脚そつと和服にくるみ年賀線
陶尖るセーター真赤雑煮汁
子に譲るカルタ取る手や家爪と
初空に残る星あり受験の子

慶弔欄

十一月中に婚姻届のあつた方
(〇印は戸籍の筆頭者)

追分 三浦 久栄
東京 森谷 信子
下出戸 船木 勝征
北海道 小野 美子
北海道 中村 敏子
二ヶ野 佐々木 富夫
上北野 佐藤 智雄
下利郡 横山 喜一郎
由利郡 佐々木 喜一郎
井川村 佐藤 瑞子
秋田市 高桑 清司
天田市 高桑 則雄
羽立 渡部 則雄
塩立 渡部 則雄
雄勝郡 佐藤 重次郎
大船橋 三浦 孝太郎
鹿角郡 田原 徳二
下出戸 加賀谷 京子
井川村 石川 敬子
上狼 菅原 金之助
脇本 近藤 英幸
東京 近藤 恵子
福岡 宗吉
福岡 細見 正成

戦没者の妻に対して十年間に二十万円を給付する「特別給付金」の事務は、その後順調に行なわれていきます。これは、昭和十二年七月七日から昭和三十八年四月一日までの間に戦死した人の妻(再婚した人は除く)に給付されるものです。

これを受ける権利は、昭和三十八年四月一日から三年以内で、ことし三月末日で時効になります。お心当たりの方は至急役場民生係へおいでください。

十一月中に死亡届のあつた方

五城目町 石川 進
上江川 米沢 和子
下出戸 佐々木 富雄
昭和町 富樫 智恵
仙台市 鈴木 喜久男
二ヶ野 佐藤 富子
秋田市 海老沢 美子
下出戸 加賀谷 喜代治
飯田川 田中 順子
琴浜村 鎌田 久一
昭和町 大坂 久男
北浦 三浦 房子
二ヶ野 上野 明子
羽立 鈴木 哲夫
下出戸 佐々木 哲夫
大船橋 吉田 幸子
五城目 吉田 幸子
大船橋 三浦 幸子

十一月中に出生届のあつたもの
男十四名 女十三名 計二十七名